

(Please refer since 22 pages for English)

お客様へ

LAN 拡張ボード(PG-LND201)を搭載する前に

富士通株式会社
2007 年 5 月

本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2007

このたびは、LAN 拡張ボード(PG-LND201)をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
BX620 S3 サーバブレードに LAN 拡張ボードを搭載する場合、BX620 S3 サーバブレードの BIOS/
ファームウェアアップデートが必要になる場合があります。2 ページからの手順を参照の上、
BIOS/ファームウェアのアップデートを実施してください。

注意

※ BX620 S4 サーバブレードに LAN 拡張ボードを搭載する場合は、アップデートする
必要がありません。

【本件のお問い合わせ】
タイトルを“PG-LND201 アップデート”として、下記宛にお問い合わせください

ia-bxfw@ml.css.fujitsu.com

以上

1. 概要

本書は PRIMERGY BX620 S3 サーバブレードの BIOS/BMC/LAN ファームウェア(以下、F/W と表記)アップデート作業について記載しています。作業の流れについて、巻末に【付録 D 作業手順チェックシート】を添付しましたので、進捗の確認にお使いください。

対象となるサーバブレードと BIOS、F/W 版数は以下の通りです。

サーバブレード	BIOS/BMC	適用前版数 (旧版)	適用後版数 (新版)	必要な作業
PRIMERGY BX620 S3	BIOS	3B04 3B08 3B10 3B17	3B18	本アップデート CD で、BIOS アップデートを行ってください。
	BMC F/W	3B12 3B19 3B21 3B26	3B27	本アップデート CD で、BMC F/W アップデートを行ってください。
	LAN F/W	1.9.3 1.9.6	3.0.0	本アップデート CD で、LAN F/W アップデートを行ってください。

1.1 アップデートの所要時間

アップデートの所要時間は、約 30 分です。

1.2 注意事項

注意

BIOS、F/W のアップデート中にリセットや予期せぬ電源切断等が発生すると、サーバブレードが動作しなくなる場合があります。

手順の中で明記されているタイミング以外での電源切断およびシステムリセットは、絶対に行わないでください。

万が一 BIOS/ファームウェアのアップデートに失敗し、サーバブレードが正常に動作しなくなった場合は、【付録 A 復旧手順】をご覧ください、BIOS/ファームウェアを修復してください。

フロッピーディスクドライブのクリーニング

フロッピーディスクドライブは、長時間クリーニングを行っていないと、ヘッド(データを読み書きする部分)の汚れのため、フロッピーディスクの読み書きに失敗することがあります。その場合は、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ハードウェアガイド シャーシ編 5.1 お手入れ」をご覧ください、クリーニングを実施してください。

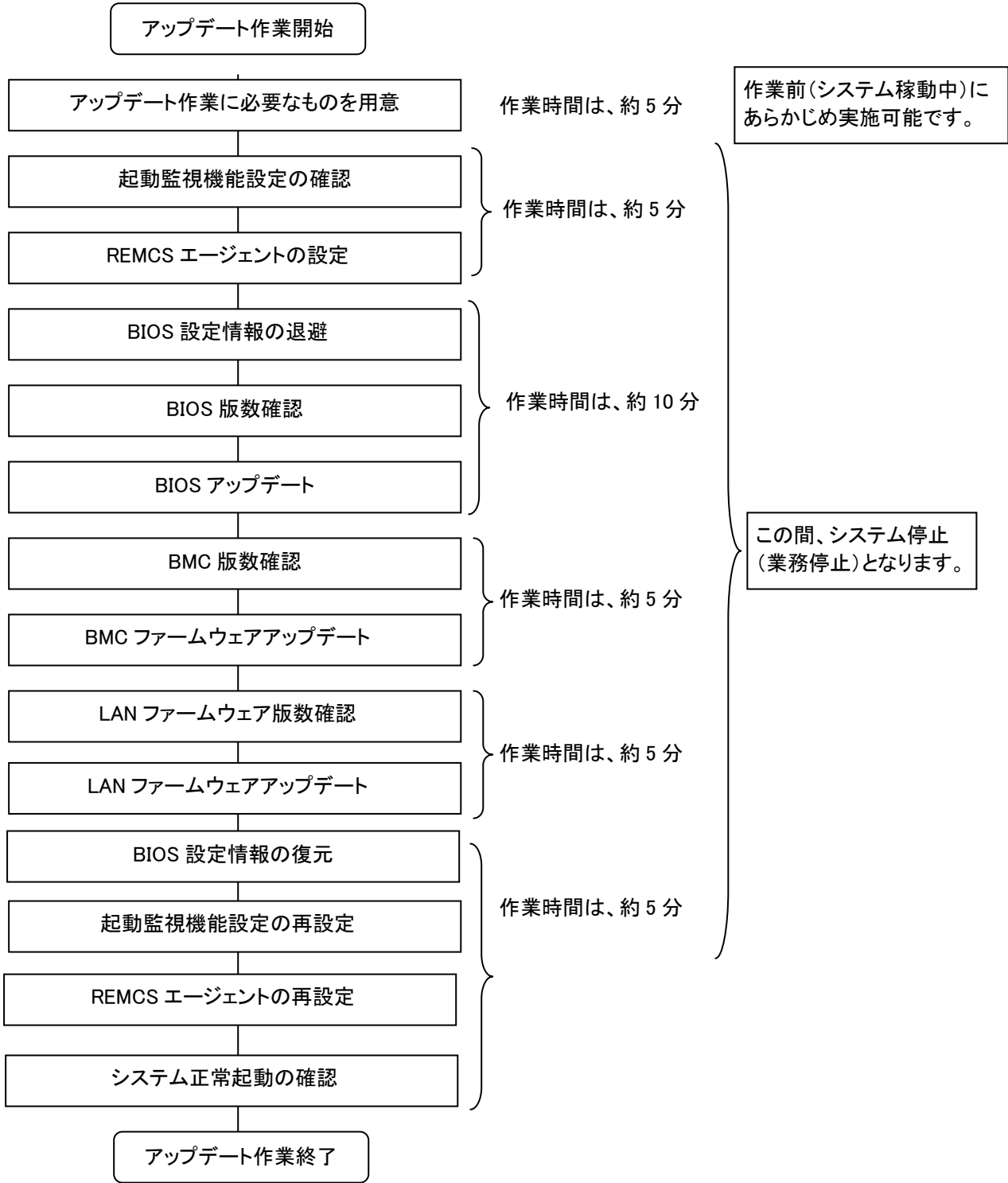
2. BIOS、F/W のアップデート

2.1 留意事項

- (1) BIOS、F/W アップデートを行う場合、アップデート対象のサーバブレードを停止させる必要があります。
- (2) 旧版の BIOS において、装置添付の Server Management Tools を使用して退避した BIOS 設定情報は、新版 BIOS に対して復元できません。
添付の「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk(以下、Backup Disk と表記)」を使用することで、旧版 BIOS において退避したデータを新版 BIOS に対して復元することができます。BIOS をアップデートする場合は、Backup Disk を使用し、アップデート前に BIOS 設定情報を退避し、アップデート後に復元してください。
また、BIOS アップデート後、複数台のサーバブレードを同一設定にする場合、Backup Disk を使用して退避アップデートのサーバブレードに対して復元できます。
Backup Disk は Server Management Tools と同じ方法で使用できますので、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザーズガイド 5.3 システム情報の退避」をご覧になり、実施してください。
万が一フロッピーディスクの故障等により BIOS 設定情報の退避／復元ができない場合にそなえ、BIOS をアップデートする前に本手順書巻末の【付録 C】に BIOS の設定情報を記録することをお勧めします。
- (3) BIOS、F/W のアップデート中は、電源の切断がされないよう十分注意してください。
マネジメントブレード、UPS によるスケジュール運転機能、BIOS セットアップユーティリティの[OS Boot Watchdog Timer] を有効にしている場合は、特にご注意ください。
- (4) BIOS、F/W のアップデートを行った後、稀に画面表示がずれる場合があります。
画面ずれが発生した場合、モニタの "Auto Adjustment" 機能等を使用して画面調整をお願い致します。

2.2 作業の概要

BIOS、F/W のアップデート作業の全体の流れは以下のようになります。
アップデート作業を順調に行うため、事前に本書を読み、作業内容を把握しておいてください。



2.3 アップデート作業に必要なもの

アップデート作業を開始する前に以下のものをご用意してください。

項	用意するもの	備考
1	PRIMERGY ドキュメント&ツール CD	サーバ添付品 CD-ROM 内の各ユーザガイドを参照します。
2	LAN 拡張ボード(PG-LND201)を搭載する前に	本書
3	PRIMERGY BX620 S3 BIOS/ファームウェアアップデートツール	LAN 拡張ボード添付品
4	PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk	LAN 拡張ボード添付品
5	PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk	LAN 拡張ボード添付品
6	USB フロッピーディスクドライブ	-
7	USB CD-ROM ドライブドライブ	-

2.4 アップデート作業の事前準備

2.4.1 サーバブレードの電源オフおよび再起動確認

アップデート作業を実施する前に、作業対象サーバブレードのシャットダウン、電源オフ、再起動を実施し、本作業実施前にシステムが正常に起動することを確認してください。これは、OS 起動ファイル等の通常アクセスされない領域が正常であることを確認しておき、アップデート完了後のシステム起動で万一問題が発生した場合の原因切り分けを容易にするために行うものです。24時間稼働のサーバブレードや、長時間未使用のサーバブレードに対してアップデート作業を実施する場合、特に必要です。

本確認でシステムが起動出来ない場合、アップデート作業を実施せず、サーバブレードの修復を行ってください。

2.4.2 ServerView の起動監視機能設定の確認

アップデート作業を開始する前に、BIOS セットアップユーティリティ中の ServerView の起動監視機能(OS Boot Watchdog Timer)が「Disabled」に設定されていることを確認します。

「Enabled」に設定されている場合は、「Disabled」に変更してください。

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (2) サーバブレードが起動したら POST 中に<F2>キーを押下し、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- (3) [Server]メニューの[ASR & R]サブメニューにカーソルをあわせ、[Enter]キーを押下します。
- (4) [OS Boot Watchdog Timer] の設定項目を [Disabled] に設定してください。
- (5) [Exit]メニューの[Save Changes and Exit] にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押下します。
- (6) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。

注意

「Enabled」に設定したまま、アップデート作業を行った場合、本サーバブレードが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をすることがあります。

2.4.3 REMCS エージェントの設定

REMCS エージェントが導入されている場合、運用操作メニューの保守作業ステータスを「保守作業中」に変更してください。REMCS エージェントについては、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「REMCS エージェント 運用ガイド 4.2 保守作業の開始/終了」を参照してください。

注意

REMCS エージェントが導入されている場合、本設定変更を必ず行ってください。本設定変更を行わない場合、富士通サポートセンター(OSC:One-stop Solution Center)に障害通知されます。

2.4.4 ブートシーケンス設定の確認

アップデート作業には、CD-ROM ドライブドライブよりサーバブレードを起動する手順が含まれます。ブートシーケンス設定(OS をどのドライブからどの順番で読み込むかについての設定)を標準から変更している場合、CD-ROM ドライブドライブからサーバブレードを起動できないことがありますので、ブートシーケンス設定の確認を行い、CD-ROM ドライブドライブからサーバブレードを起動できる設定にしてください。本作業については、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザズガイド 8.2 BIOS セットアップユーティリティ」をご覧ください、実施してください。

2.4.5 BIOS/BMC 版数確認

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (2) サーバブレードが起動したら POST 中に<F2>キーを押下し、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- (3) [Main]メニューの[BIOS Version]および[BMC F/W Version]項目で、BIOS/BMC 版数を確認します。

BIOS Version	3B08
BMC F/W Version	3B19

BIOS/BMC 版数が 3B04/3B12、3B08/3B19、3B10/3B21、3B17/3B26 の場合、アップデートが必要です。『2.4.6 BIOS/BMC 設定情報の記録』を実施ください。

BIOS/BMC 版数が 3B18/3B27 以降の場合、アップデートは不要です。

- (4) 版数を確認したら、[Exit]メニューの[Discard Changes and Exit] にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押下します。
- (5) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。

2.4.6 BIOS 設定情報の退避

PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk を使用して、BIOS 設定情報を退避してください。Backup Disk は Server Management Tools と同じ方法で使用できますので、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザズガイド 5.3 システム情報の退避」をご覧ください。

また、万が一フロッピーディスクの故障等により BIOS 設定情報の退避/復元ができない場合にそなえ、BIOS セットアップユーティリティを起動して現在の全ての設定を記録することををお勧めします。記録する際は【付録 C コンフィグレーション・シート BIOS セットアップ項目】を使用してください。

尚、「SAS Configuration Utility」の設定は、BIOS アップデート後の再設定は必要ありませんので、設定を記録する必要はありません。

2.5 BIOS/BMC/LAN ファームウェア アップデート手順

- (1) アップデートするサーバブレードに USB フロッピーディスクドライブと USB CD-ROMドライブを接続します。
- (2) フロッピーディスクドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk」を、CD-ROMドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/ファームウェアアップデートツール」をセットし、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (3) FreeDOS が起動し、アップデートツールが自動的に起動します。
- (4) 版数を確認し、書き込まれている版数がアップデート対象外の場合、アップデート作業を終了して下さい。
- (5) 版数がアップデート対象の場合、最初に BIOS、BMC のアップデートが開始されます。

注意
BIOS アップデート中にリセットや予期せぬ電源切断等が発生すると、サーバブレードが正常に動作しなくなることがあります。アップデート中に電源切断およびシステムリセット等の操作が絶対に行われないようにしてください。

BIOS アップデートに失敗し、サーバブレードが正常に動作しなくなった場合は、【付録 A 復旧手順】をご覧ください。

- (6) 下記のメッセージが画面に表示されたら、「Enter」キーを押下してください。サーバブレードが再起動します。

```
*****  
*                                     *  
*   BIOS/BMC Firmware update completed successfully.   *  
*   If you are ready, please press Enter-key.           *  
*                                     *  
*****
```

- (7) FreeDOS が起動し、下記のように LAN ファームウェアの版数が表示されます。

A. LAN 拡張ボードが搭載されている場合

```
xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4  
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.  
  
C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration  
1:5708S:** **:**:** PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto  
2:5708S:** **:**:** PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  1.9.6  Mp,auto  
3:5708S:** **:**:** PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  1.9.6  Mp,auto  
4:5708S:** **:**:** PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto  
  
FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
```

B. LAN 拡張ボードが搭載されていない場合

```
xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  1.9.6    Mp,auto
2:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  1.9.6    Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
```

- LAN Boot Code 版数が 1.9.3、1.9.6 の LAN コントローラがある場合、アップデートが必要です。「n」キーを押下してください。(8)に進んでください。
- LAN Boot Code 版数が 3.0.0 のみの場合、アップデートは不要です。「y」キーを押下してください。ツールが自動的に終了します。(12)に進んでください。

(8) 自動的に LAN Boot Code のアップデートが開始されます。

注意
 ファームウェアアップデート中にリセットや予期せぬ電源切断等が発生すると、サーバブレードが正常に動作しなくなることがあります。アップデート中に電源切断およびシステムリセット等の操作が絶対に行われなようにしてください。

ファームウェアアップデートに失敗し、サーバブレードが正常に動作しなくなった場合は、【付録 A 復旧作業】をご覧ください。

(9) 下記のメッセージが表示されたら、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。10 秒程度経過後、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。

```
*****
*
* LAN Boot code 3.0.0 successfully updated *
*
*
*
*****
```

(10) 下記のメッセージが画面に表示されたら、LAN Boot Code が 3.0.0 にアップデートされていることを確認します。

A. LAN 拡張ボードが搭載されている場合

```
xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
2:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
3:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
4:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
```


B. LAN 拡張ボードが搭載されていない場合

```
xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto
2:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
```

- (11) すべての LAN Boot code 版数が 3.0.0 になっていることを確認後、「y」キーを押します。
- (12) 下記のメッセージが画面に表示されたら、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。

```
*****
*
* LAN Boot code version OK (3.0.0)
*
*
*
*****
```

- (13) 再起動させ、POST 中に<F2>キーを押下し、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- (14) [Main]メニューの[BIOS Version]および[BMC F/W Version]項目で、アップデート後の BIOS/BMC 版数を確認します。

```
BIOS Version      3B18
BMC F/W Version   3B27
```

- (15) 版数が正しいことを確認したら、[Exit]メニューの[Discard Changes & Exit] にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押下します。
- (16) フロッピーディスクと CD を取り出し、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。

2.6 BIOS 設定情報の復元

PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk を使用して、BIOS アップデート前に退避したデータを復元します。Backup Disk は Server Management Tools と同じ方法で使用できますので、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザーズガイド 5.3 システム情報の退避」をご覧ください、実施してください。

2.7 ServerView 起動監視機能の再設定

BIOS アップデート作業を開始する前に、BIOS セットアップユーティリティ中の ServerView の起動監視機能設定(OS Boot Watchdog Timer)を「Disabled」に変更した場合は、以下の手順で「Enabled」に戻します。本作業については、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザーズガイド 8.2 BIOS セットアップユーティリティ」をご覧ください、実施してください。

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (2) サーバブレードが起動したら POST 中に<F2>キーを押下し、BIOS セットアップユーティリティを起動します。
- (3) [Server]メニューの[ASR & R]サブメニューにカーソルをあわせ、[Enter]キーを押下します。
- (4) [OS Boot Watchdog Timer] : [Enabled] に設定してください。
- (5) [Exit]メニューの[Save Changes and Exit] にカーソルを合わせ、[Enter]キーを押下します。
- (6) サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を切断します。

2.8 REMCS エージェントの再設定

アップデート作業を開始する前に、REMCS エージェント運用操作メニューの保守作業ステータスを「保守作業中」に変更した場合は、元の設定に戻します。REMCS エージェントについては、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「REMCS エージェント 運用ガイド 4.2 保守作業の開始/終了」をご覧ください、実施してください。

注意

本設定変更を行った場合、アップデート作業完了後に必ず元の設定に戻してください。設定を元に戻さない場合、障害発生時に通知がされないため、富士通サポートセンター(OSC)は障害発生を認識できません。

2.9 ブートシーケンス設定の確認

アップデート作業を開始する前に、ブートシーケンス設定を変更した場合は、元に戻します。本作業については、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザーズガイド 8.2 BIOS セットアップユーティリティ」をご覧ください。実施してください。

2.10 システム正常起動の確認

システムが正常に起動することを確認してください。

以上で、アップデート作業は終了です。

3. LAN ドライバおよび Broadcom Advanced Control Suite 2 (以下、BACS2)のインストールについて

BX620S3 サーバブレードに LAN 拡張ボードを搭載する場合は、以下の方法で LAN ドライバ、BACS2 のインストールを行ってください。

3.1 LAN ドライバのインストール

- 1 PRIMERGY BX620S3 BIOS/ファームウェアアップデートツール CD-ROM をセットします。
- 2 次の EXE を実行します。
 - ・Windows Server 2003 x64 の場合
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K3x64¥DrvInst¥setup.exe
 - ・Windows Server 2003 の場合
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K3¥DrvInst¥setup.exe
 - ・Windows Server 2000 の場合
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K¥DrvInst¥setup.exe
- 3 [Next]をクリックします。
ドライバのインストールが開始されます。
- 4 [Finish]をクリックします。
- 5 CD-ROM を取り出し、サーバブレードを再起動します。

※インストール方法の詳細は LAN 拡張ボード(1Gbps)ユーザーズガイドの「LAN ドライバのインストール」を参照してください。

3.2 BACS2 のインストール

- 1 PRIMERGY BX620S3 BIOS/ファームウェアアップデートツール CD-ROM をセットします。
- 2 次の EXE を実行します。
 - ・Windows Server 2003 x64 の場合
¥MgmtApps¥x64¥setup.exe
 - ・Windows Server 2003/Windows Server 2000 の場合
¥MgmtApps¥IA32¥setup.exe

※インストール方法の詳細は LAN 拡張ボード(1Gbps)ユーザーズガイドの「Broadcom Advanced Control Suite 2(BACS2)」を参照してください。

【付録A 復旧作業】

A-1. BIOS アップデートに失敗した場合

BIOS アップデート中の停電等により BIOS のアップデートに失敗してサーバブレードが正常に起動しない場合は、下記の手順で BIOS を書き込んでください。

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押してサーバブレードの電源を切断します。
- (2) サーバブレードをシャーシより抜き、ディップスイッチの 3 を ON に設定します。
尚、トップカバーの取り付け/取り外しについては、PRIMERGY ドキュメント&ツール CD 内の「ユーザーズガイド 7.2 トップカバーの取り付け/取り外し」をご覧ください、実施してください。

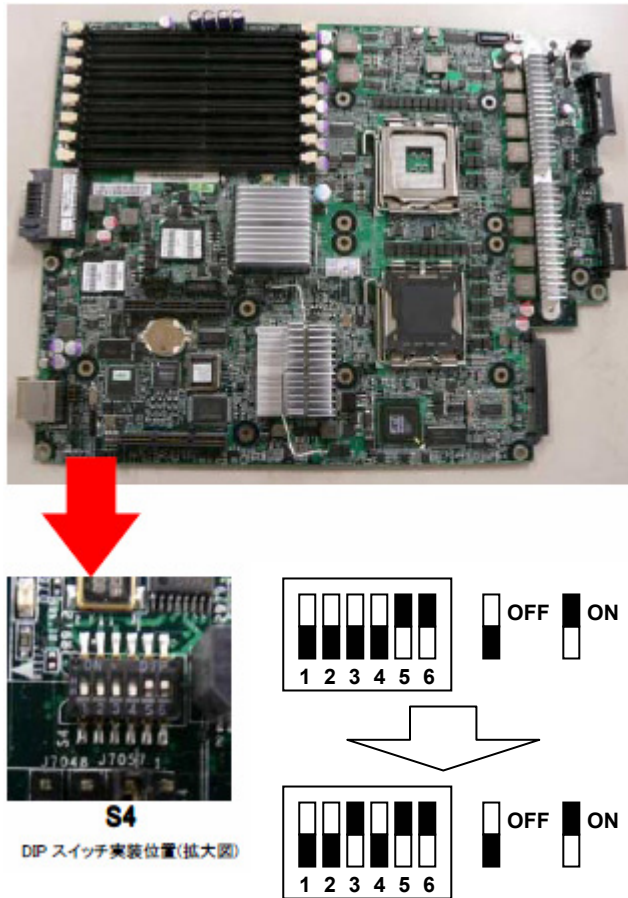


Figure.1-1

- (3) サーバブレードをシャーシに搭載し、USB フロッピーディスクドライブを接続して「PRIMERGY BX620 S3 BIOS Recovery Disk」をセットし、サーバブレードの電源スイッチを押します。
- (4) USB フロッピーディスクドライブに自動的にアクセスが始まり BIOS リカバリツールが起動します。
- (5) サーバブレードの電源スイッチ押下後、5～6 分後に BIOS リカバリが完了します。USB フロッピーディスクドライブのアクセス LED が消灯していることを確認し、サーバブレードの電源スイッチを押しつづけて(4 秒以上)電源を切断してください。
- (6) サーバブレードをシャーシより抜き、ディップスイッチの 3 を OFF に戻します。
- (7) サーバブレードをシャーシに戻し電源を投入後、サーバブレードが起動することを確認したら、「2.5 アップデート手順」の手順(1)より、再開してください。

A-2. BMC ファームウェアアップデートに失敗した場合

BMC ファームウェアアップデートに失敗した場合は、下記の手順で復旧を実施してください。

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押してサーバブレードの電源を切断します。
- (2) サーバブレードをシャーシより抜きます。
- (3) 10 秒以上経過後、サーバブレードをシャーシに搭載し、USB フロッピーディスクドライブと CD-ROM ドライブを接続します。
- (4) フロッピーディスクドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk」をセットし、CD-ROM ドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/ファームウェアアップデート ツール」をセットし、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (5) ツールが起動したら、「ctrl」+「C」を押してください。
- (6) 下記のメッセージが表示したら、「Y」キーを押下してください。

```
Control-Break Pressed.  
Terminate Batch file 'c:\AUTOEXEC.BAT' (Yes/No/All)?
```

- (7) 下記のメッセージが表示されることを確認してください。

```
C:\
```

- (8) 表示が確認できたら、下記のコマンドを入力してください。

```
C:\ download -f BM033B27.BIN
```

- (9) ツールが起動し、下記のメッセージが表示されることを確認してください。

```
"Firmware download complete and successful"
```

- (10) 上記表示を確認してから約 5 秒待ち、サーバブレードの電源スイッチを押しつづけて(4 秒以上)電源を切断してください。
- (11) サーバブレードの電源を投入後、サーバブレードが起動することを確認したら、「2.5 アップデート手順」の手順(1)より、再開してください。

A-3. LAN Boot Code アップデートに失敗した場合

LAN Boot Code アップデートに失敗した場合は、下記の手順で復旧を実施してください。

- (1) サーバブレード前面の電源ボタンを押してサーバブレードの電源を切断します。
- (2) サーバブレードをシャーシより抜きます。
- (3) 10 秒以上経過後、サーバブレードをシャーシに搭載し、USB フロッピーディスクドライブと CD-ROM ドライブを接続します。
- (4) フロッピーディスクドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk」をセットし、CD-ROM ドライブに「PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/ファームウェアアップデート ツール」をセットし、サーバブレード前面の電源ボタンを押して、サーバブレードの電源を投入します。
- (5) 電源を投入後、サーバブレードが起動することを確認したら、「2.5 アップデート手順」の手順(1)より、再開してください。

【付録 B トラブルシューティング】

メッセージ	意味	対処
A file conversion error occurred...	エラーが発生	フロッピーディスクおよびドライブが正常かを確認してください。再度実行しても発生する場合は、予備のフロッピーディスクまたはドライブと交換してください。
A comparison error1 occurred...	対象外の機種	装置を確認し、再度実施してください。
A comparison error2 occurred...		
An error occurred when this tool read information from FRU...	エラーが発生	フロッピーディスクおよびドライブが正常かを確認してください。再度実行しても発生する場合は、予備のフロッピーディスクまたはドライブと交換してください。
An error occurred. . .	エラーが発生	
BMC update fail	BMC のアップデートに失敗	
BIOS update fail	BIOS のアップデートに失敗	フロッピーディスクおよびドライブが正常かを確認してください。再度実行しても発生する場合は、予備のフロッピーディスクまたはドライブと交換してください。正常に起動しない場合は、【付録 A 復旧作業】を行ってください。
BIOS settings was not compatible...	BIOS 互換性確認でエラー	アップデートが必要な版数であるか再度確認し、該当版数であれば再度実行してください。
Checking Board Number	ボードナンバーを確認中	確認には、1~2 分かかる場合があります。しばらく待ってもプログラムが実行されない場合は、再起動してアップデート作業を再実行してください。
checking checksum...	ファイルのチェックサムを確認中	
Checking BIOS version...	BIOS バージョンを確認中。	
Checking Firmware version...	サーバブレードの版数を確認中	
Checking type of Blade ...	サーバブレードの種類を確認中	
Can't restore because of missing files...	BIOS 復元に失敗	該当ファイルがフロッピーディスクにあるか確認後、再度復元処理を実施してください。
Error reading from drive A: DOS area: drive not ready (A)bout, (I)gnore, (R)erty, (F)ail?	フロッピーディスクにアクセスできなかった	書き込み可能なフロッピーディスクを挿入し、"R(Retry)"を実施してください。
Error writing to drive A: DOS area: write-protection violation attempted (A)bout, (I)gnore, (R)etry, (F)ail?	フロッピーディスクにライトプロテクトがかかっている	フロッピーディスクのライトプロテクトを外して "R(Retry)"を実施してください。
ERROR: The system have DOS Format Partition. Could not work on this system.	システムに DOS パーティションが存在するため、ツールが起動できない	DOS フォーマットのパーティションおよび未フォーマットのパーティションを削除し、再実行してください。
ERROR: This floppy is broken!	アップデートディスク媒体の不良、またはフロッピーディスクドライブのヘッド汚れもしくは不良	フロッピーディスクドライブのアクセス LED が消灯していることを確認し、サーバブレードの電源を切断してください。別のアップデートディスクを作成し、再実施してください。
Firmware update success!! Please set Floppy disk 1 and Power off and on!	ファームウェアアップデートが成功し、電源オフ・オンを要求	ファームウェアアップデートが成功。指示された番号のフロッピーディスクを挿入し、前面の電源スイッチで、電源オフ・オンを行ってください。
Firmware check OK!! Please Power off!!	ファームウェアの版数チェックが完了	ファームウェアの版数チェックが完了し、前面の電源スイッチで、電源オフを行ってください。
Firmware check error phase1	エラーが発生	フロッピーディスクおよびドライブが正常かを確認してください。再度実行しても発生する場合は、予備のフロッピーディスクまたはドライブと交換してください。
Firmware check error phase2		
Firmware check error phase3		
Firmware check error phase4		
Now reading programs. . . Please wait...	ツールの読み込み中	起動には 1~2 分かかる場合があります。しばらく待ってもメニューが表示されない場合は、ケーブルの接続、ドライブを確認し、再実行してください。

Please insert the floppy disk. Press any key to continue . . .	フロッピーディスクの要求	フロッピーディスクを挿入して、Enter を押してください。
Please set Floppy Disk 2 Please set Floppy Disk 3	指示されたフロッピー ディスクを要求	指示されたフロッピーディスクを挿入してください。
Please run 'deldat.bat' before saving settings...	不要なファイルの削除要求	“deldat”でファイルの削除を行い、再度退避処理を行ってください。
System does not match this flash-diskette!	対象外の機種	装置を確認し、再実施してください。

【付録 C コンフィグレーション・シート】

■Main メニューの設定

設定／表示内容 (■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)	
Version	AMIBIOS のバージョンを表示(表示のみ)
Build Date	AMIBIOS のビルドした日付を表示(表示のみ)
BIOS Version	BIOS の F/W バージョンを表示(表示のみ)
BMC F/W Version	BMC の F/W バージョンを表示(表示のみ)
System Time *1	現時間を表示 [hh:mm:ss]
System Date *1	現日付を入力 [xxx MM/DD/YYYY]
Sync RTC with Mgmt, Blade	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled
System Memory Size	搭載のメモリ容量を表示

*1: Sync RTC with Mgmt, Blade が Disabled 設定時に入力可能

■Advanced メニューの設定

設定／表示内容 (■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)	
Reset Configuration Data	◎No ◇Yes
Peripheral Configuration	
Serial Port1 Address	<input type="checkbox"/> Disabled ◎3F8/IRQ4 <input type="checkbox"/> 2F8/IRQ3 <input type="checkbox"/> 3E8/IRQ4 <input type="checkbox"/> 2E8/IRQ3
USB Configuration	
USB Functions	<input type="checkbox"/> Disabled ■4 USB Ports
USB 2.0 Controller	■Enabled <input type="checkbox"/> Disabled
Legacy USB Support	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled ■Auto
USB Mass Storage Device Configuration	
USB Mass Storage Reset Delay (*2)	<input type="checkbox"/> 10Sec ■20Sec <input type="checkbox"/> 30Sec <input type="checkbox"/> 40Sec
Device #1	GENERIC CDRxxxx
Emulation Type (*3)	■Auto <input type="checkbox"/> Floppy <input type="checkbox"/> Forced FDD <input type="checkbox"/> Hard Disk <input type="checkbox"/> CDROM
Device #2	Y-E USB-FDU
Emulation Type (*3)	■Auto <input type="checkbox"/> Floppy <input type="checkbox"/> Forced FDD <input type="checkbox"/> Hard Disk <input type="checkbox"/> CDROM
PCI Configuration	
Onboard Disk OPROM	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled
Onboard Lan 1 OPROM	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled
Onboard Lan 2 OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
PCI slot OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Daughter Board OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled
Onboard LAN 1 Controller	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled
Onboard LAN 2 Controller	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled

*2: USB デバイスを接続している時に表示される項目

*3: 接続している USB デバイスの台数分表示される項目

設定／表示内容		(■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)
CPU Configuration		
C1E Support *1		■Disabled □Enabled
Hardware Prefetcher		□Disabled ■Enabled
Adjacent Cache Line Prefetch		□Disabled ◎Enabled
Vanderpool Technology *1, *2		◎Disabled □Enabled
Execute Disable Bit		◎Disabled □Enabled
Intel(R)SpeedStep(tm) tech. *1		□Maximum □Minimum □Automatic ◎Disabled
Intel(R) C-STATE tech.		■Disabled □Enabled

*1: 搭載 CPU の種類によって表示されない場合があります

*2: OS ブート後に再起動した場合グレースアウトされる。電源オフ/オン実施後、設定変更可能

■Security メニューの設定

設定／表示内容		(■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)
Supervisor Password		Password の有無を表示
User Password		Password の有無を表示
Change Supervisor Password		Password を入力
Change User Password		Password を入力
Clear User Password *3		[Enter]キー押下で、User Password をクリアする。
Password Check *4		◎Setup □Always
Supervisor Password Lock *4		◎Standard □Extended

*3: ユーザ用パスワードの設定時に表示される項目

*4: 管理者用パスワードまたは、ユーザ用パスワードの設定時に表示される項目

■Server メニューの設定

設定／表示内容		(■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)
Post Errors		□Disabled ■Enabled
ASR&R		
OS Boot Watchdog Timer		◎Disabled □Enabled
Timer Count Down Value *5		□2minutes ~ ◎10Minutes ~ □100Minutes
Timer Count Action *5		□No Action ◎Reset □Power Off □Power Cycle
Boot Retry Counter		□No Retry □Retry1 time ~ ◎Retry3 times ~ □Retry7 times
ASR&R Boot Delay(Minute)		□0~30 ■2
After Power Failure		□Stay Off ◎Last State □Power On
CPU Status		
CPU1 Status		■Enabled □Disabled □Failed *6 □Empty *7
CPU2 Status		■Enabled □Disabled □Failed *6 □Empty *7
Hyper Threading Technology		◎Disabled □Enabled

*5: OS Boot Watchdog Timer を“Disabled”から“Enabled”に変更した時のみ表示される項目

*6: CPU IERR 発生時に表示される設定値。Enabled への変更のみ可能

*7: CPU 未搭載時に表示される項目

設定／表示内容		(■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)
Memory Status		
Memory Scrubbing *1	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Memory Mirror	<input checked="" type="checkbox"/> Disabled	<input type="checkbox"/> Mirror
DIMM 1,2	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 3,4	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 5,6	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 7,8	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
Console Redirection		
Com Port Address	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> On-board COM A
Protocol	<input checked="" type="checkbox"/> ANSI	<input type="checkbox"/> VT100 <input type="checkbox"/> VT-UTF8 <input type="checkbox"/> VT100+
Flow Control	<input checked="" type="checkbox"/> XON/XOFF	
Mode	<input type="checkbox"/> Standard	<input checked="" type="checkbox"/> Enhanced
System Information		
Manufacturer	搭載されている CPU ベンダ名が表示される	
Brand String	CPU 名称および周波数が表示される	
Frequency	CPU 周波数が表示される	
FSB Speed	FSB スピードが表示される	
Stepping	CPU のステッピングが表示される	
Cache L1	L1 キャッシュが表示される	
Cache L2	L2 キャッシュが表示される	
On Board LAN1 Mac Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx	
On Board LAN2 Mac Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx	

*1: モデルによって表示されない場合があります。

■Bootメニューの設定

設定／表示内容		(■:変更禁止 ◎出荷時設定 ◇Default)
Bootup Num-Lock	<input type="checkbox"/> Off	<input checked="" type="checkbox"/> On
Boot Device Priority (*1)		
	<input type="checkbox"/> USB:Y-E USB FDU <input type="checkbox"/> USB:Virtual Floppy *2 <input type="checkbox"/> USB:GENERIC CDRxxx <input type="checkbox"/> USB:USB *3 <input type="checkbox"/> SCSI:#C40 ID00 LUN <input type="checkbox"/> SCSI:#C40 ID01 LUN <input type="checkbox"/> Network:MBA v x.x.x <input type="checkbox"/> Network:MBA v x.x.x <input type="checkbox"/> その他:_____	

*2: 高機能 KVM モジュールを経由して接続しているクライアントコンピュータのフロッピーディスクドライブをエミュレーション接続している場合に表示される項目

*3: 高機能 KVM モジュールを経由して接続しているクライアントコンピュータの CD-ROM ドライブをエミュレーション接続している場合に表示される項目

【付録 D 作業手順チェックシート】

サーバブレードの台数に応じて、以下をコピーして記録してください。

	2.4.1 サーバブレードの電源オフおよび再起動確認
<input type="checkbox"/>	電源オフおよび再起動を実施し、正常に稼動していることを確認した。
	2.4.2 ServeView の起動監視機能設定の確認
<input type="checkbox"/>	OS ブート監視機能が設定されていないことを確認した。
<input type="checkbox"/>	OSブート監視機能を一時的に無効に設定した。
	2.4.3 REMCS エージェントの設定
<input type="checkbox"/>	REMCS エージェントが導入されていないことを確認した。
<input type="checkbox"/>	「保守作業中」の設定を実施した。
	2.4.4 ブートシーケンス設定の確認
<input type="checkbox"/>	現在の設定にてフロッピーディスクから起動可能なことを確認した。
<input type="checkbox"/>	フロッピーディスクから起動可能な設定に変更した。
	2.4.5 BIOS/BMC 版数確認
<input type="checkbox"/>	BIOS 版数がアップデート作業対象であることを確認した。
<input type="checkbox"/>	BIOS 版数 : 3B18
<input type="checkbox"/>	BMC 版数がアップデート作業対象であることを確認した。
<input type="checkbox"/>	BMC 版数 : 3B27
	2.4.6 BIOS 設定情報の退避
<input type="checkbox"/>	Backup Disk を使用し、現在の BIOS 設定情報を退避した。
	2.5 BIOS/BMC/LAN ファームウェア アップデート手順
<input type="checkbox"/>	アップデート完了後、電源オフ・オンにより、システムが再起動されることを確認した。
<input type="checkbox"/>	LAN ファームウェア版数が[3.0.0]であることを確認した。
<input type="checkbox"/>	アップデート完了後の BIOS 版数が[3B18], BMC[3B27]であることを確認した。
	2.6 BIOS 設定情報の復元
<input type="checkbox"/>	Backup Disk を使用し、BIOS アップデート前の設定値に復元した。
<input type="checkbox"/>	Server Management Tools を使用し、現在の設定を新規に保存した。
	2.7 ServeView 起動監視機能の再設定
<input type="checkbox"/>	2.4.2 より、OS ブート監視機能の再設定は不要なことを確認した。
<input type="checkbox"/>	2.4.2 にて無効にした OS ブート監視機能の設定を有効に戻した。
	2.8 REMCS エージェントの再設定
<input type="checkbox"/>	2.4.3 より、REMCS エージェントの再設定は不要なことを確認した。
<input type="checkbox"/>	2.4.3 にて「保守作業中」に変更した設定を元の設定に戻した。
	2.9 ブートシーケンス設定の確認
<input type="checkbox"/>	2.4.4 より、ブートシーケンスの再設定は不要なことを確認した。
<input type="checkbox"/>	2.4.4 にて変更したブートシーケンスを元の設定に戻した。
	2.10 システム正常起動の確認
<input type="checkbox"/>	アップデート作業後、システムが正常に起動することを確認した。

(日本語はこれ以前をご覧ください)

Before installing 1Gbit/s Ethernet I/O Module (PG-LND201)

May 2007
FUJITSU
LIMITED

All Rights Reserved, Copyright © FUJITSU LIMITED 2007

Thank you for purchasing 1Gbit/s Ethernet I/O Module (PG-LND201) from us. You need to update the BIOS/firmware in BX620 S3 Server Blade when installing LAN extension card to BX620 S3 Server Blade. Please execute the updating in reference to procedures from page.23.

Note

※ You don't have to update if you purchased BX620 S4 Server Blade.

【Contact us】

Please contact us at the following address, and write "PG-LND201 Updating" in the title.

ia-bxw@ml.css.fujitsu.com

1. Description

This document provides information on how to update BIOS/BMC/LAN Firmware (F/W) in the PRIMERGY BX620 S3 Server Blade. [Appendix D:Work procedure check sheet] of the work flow is appended to the end of this document, and use it to confirm progress.

Followings are the target of Server Blade, BIOS and F/W version.

Server Blade	BIOS/BMC	Before application (Old edition)	After application (New edition)	Required Task
PRIMERGY BX620 S3	BIOS	3B04 3B08 3B10 3B17	3B18	Update BIOS by updating CD.
	BMC F/W	3B12 3B19 3B21 3B26	3B27	Update BMC F/W by updating CD.
	LAN F/W	1.9.3 1.9.6	3.0.0	Update LAN F/W by updating CD.

1.1 Time required for updating.

Time required for updating is about 30 min.

1.2 Caution

Caution
The Server Blade might not operate when reset or unexpected cutting of power are generated while updating BIOS or F/W.

Never do neither power supply cutting nor system reset except in the setting of the time described in the procedure.

Refer to [Appendix A: Recovery Procedure] and restore BIOS/firmware when the Server Blade doesn't operate normally because of failing in the update of BIOS/firmware and.

Cleaning of FloppyDisk Drive.
The floppy disk drive might fail in the reading and writing of the floppy disk due to the dirt of the head (where data is read and written) if it doesn't clean it for a long time. In that case, see "System Unit Hardware Guide 5.1 Cleaning" in PRIMERGY document & tool CD, and execute the cleaning.

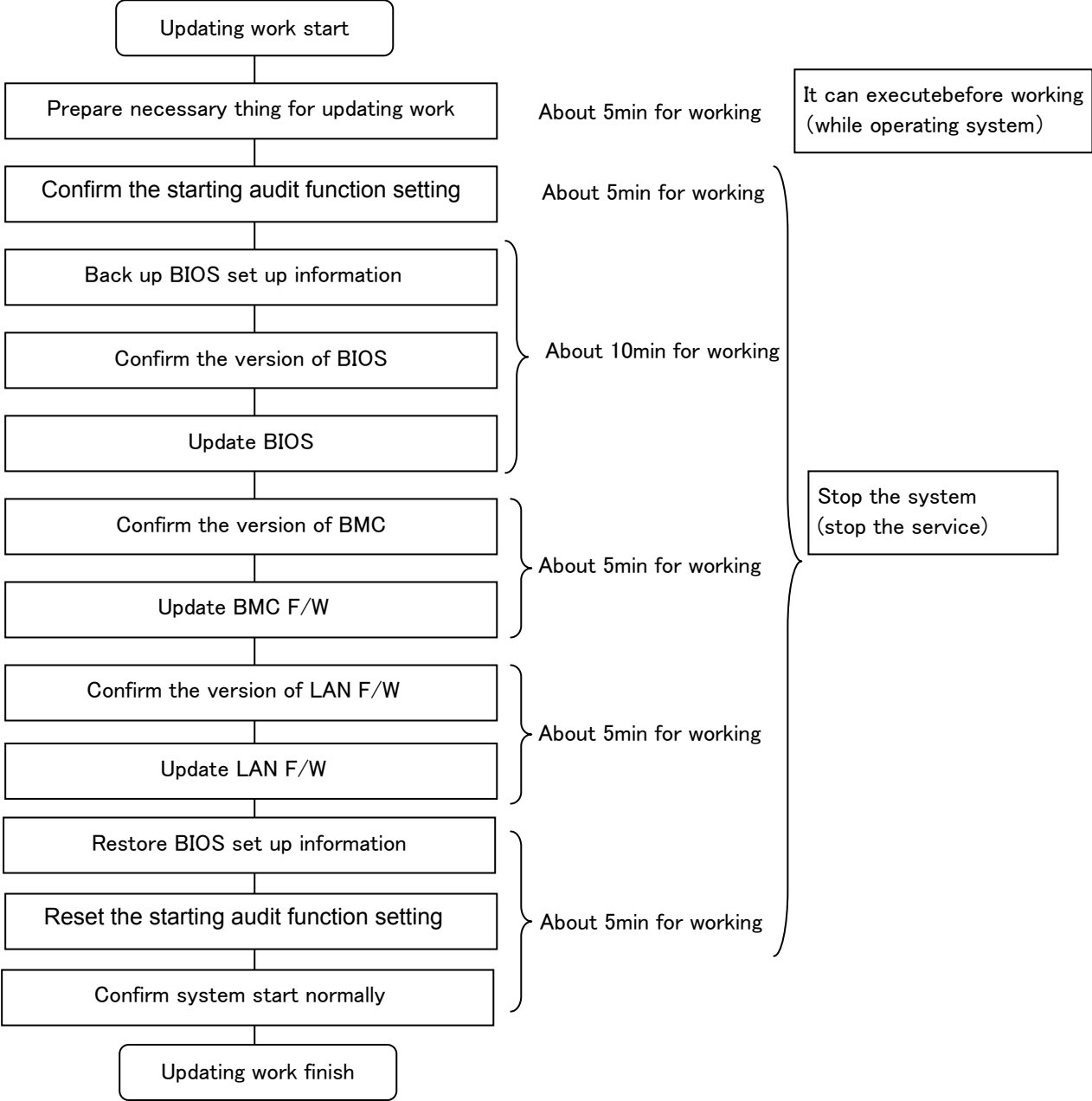
2. Updating BIOS and F/W

2.1 Consideration

- (1) It is necessary to stop the target server blade when you update the BIOS and F/W.
- (2) In BIOS of the old edition, it can't be restored to the BIOS of new edition that BIOS set up information back up by using Server Management Tools supplied with the device.
The data backup in BIOS of old edition can be restored to BIOS of new edition by using attached "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk (hereinafter called, Backup Disk)". When you update BIOS, back up the BIOS set up information before updating, and restore it after updating by using the Backup Disk.
It can be restored for the Server Blade of backup updating by using Backup Disk when two or more Server Blades are set in the same way after BIOS updating.
Backup Disk can be used in a similar way to Server Management Tools, and see "User's guide 5.3 Storing the System Setting Information" in PRIMERGY document & tool CD, and execute it.
We will recommend that the set up information of BIOS to be recorded in **【Appendix C: Cofiguration Sheet】** in the end of this document before updating BIOS for the case the BIOS set up information cannot backup/be restored due to the breakdown of the floppy disk etc.
- (3) Note that the power supply is not cut while updating BIOS and F/W.
Note it especially when the management blade, schedule operating function by UPS, and [OS Boot Watchdog Timer] of the BIOS setup utility are enabled.
- (4) The screen display might shift rarely after updating BIOS and F/W. Adjust the screen by using "Auto Adjustment" function of the monitor when a shift is occurred.

2.2 Outline of work

The entire flow of the update work of BIOS and F/W is as follows.
Read this book to update work well beforehand, and understand the content of work.



2.3 Necessary thing for updating

Prepare the following before updating work.

Section	Necessary thing	Recital
1	PRIMERGY Document & Tool CD	Appended. See each user's guide in CD-ROM.
2	Before installing 1Gbit/s Ethernet I/O Module(PG-LND201)	This book.
3	PRIMERGY BX620 S3 BIOS/Firmware update tool	Appended with 1Gbit/s Ethernet I/O Module
4	PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk	Appended with 1Gbit/s Ethernet I/O Module
5	PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk	Appended with 1Gbit/s Ethernet I/O Module
6	USB Floppy Disk Drive	-
7	USB CD-ROM Drive	-

2.4 Advance preparation for updating work

2.4.1 Confirm the power-off and restart at Server Blade

Execute the shutdown, the power-off, restarting of the target server blade before starting the update work, and confirm the system starts normally. It is confirmed that the area where are not usually accessed such as OS starting file is normal, and to facilitate determining the cause when the problem occurs by the system startup after the update is completed. It is necessary, especially for updating the operations around the clock or unused Server Blade for a long time.

Do not execute the update work when you cannot start the system by this confirmation, and restore the Server Blade.

2.4.2 Confirm the starting audit function setting of ServerView

Confirm the starting audit function (OS Boot Watchdog Timer) of ServerView in the BIOS setup utility has been set to "Disabled" before the update work begins.

Change to "Disabled" when it is set to "Enabled".

- (1) Turn on the power of the Server Blade pushing the power supply button in front of the Server Blade.
- (2) Press < F2 > key in POST, and start the BIOS setup utility when the Server Blade starts.
- (3) Point the cursor to [ASR & R] submenu of the [Server] menu, and press 'Enter'.
- (4) Set a setting item of [OS Boot Watchdog Timer] to [Disabled].
- (5) Point the cursor to [Save Changes and Exit] in [Exit] menu, and press 'Enter'.
- (6) Turn off the power of the Server Blade pushing the power supply button in front of the Server Blade.

Caution

This Server Blade might be done unintended operation such as power supply cutting and rebooting automatically when the update work is done while set to "Enabled".

2.4.3 Confirm boot sequence setting

The update work includes the procedure for starting the Server Blade from the CD-ROM drive. The Server Blade might not be able to be started from the CD-ROM drive when you have changed the boot sequence setting (setting in which order from which drive to read OS) from the standard, and confirm the boot sequence setting, and change to the setting that can start the Server Blade from the CD-ROM drive. See "User's guide 8.2 BIOS setup utility" in PRIMERGY document & tool CD about this work, and execute it.

2.4.4 Confirm the version of BIOS/BMC

- (6) Turn on the power of the Server Blade pushing the power supply button in front of the Server Blade.
- (7) Press < F2 > key in POST, and start the BIOS setup utility when the Server Blade starts.
- (8) Confirm the version of BIOS/BMC by [BIOS Version] and [BMC F/W Version] of the [Main] menu.

BIOS Version	3B08
BMC F/W Version	3B19

When the number of BIOS/BMC versions is 3B04/3B12, 3B08/3B19, 3B10/3B21, and 3B17/3B26, it is necessary to update it. Execute '2.4.6 the record of the BIOS/BMC set up information'.

The update is unnecessary the number of BIOS/BMC versions is since 3B18/3B27.

- (9) Point the cursor to [Discard Changes and Exit] of the [Exit] menu, and press 'Enter' when you confirm the number of versions.
- (10) Turn off the power of the Server Blade pushing the power supply button in front of the Server Blade.

2.4.5 Back up the BIOS set up information

Back up the BIOS set up information by using PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk.. Backup Disk can be used in a similar way to Server Management Tools, and see "User's guide 5.3 Storing the System Setting Information" in PRIMERGY document & tool CD, and execute it.

We will recommend that all setting of present to be recorded in [Appendix C: Configuration Sheet] in the end of this document with BIOS set up utility for the case the BIOS set up information cannot backup/be restored due to the breakdown of the floppy disk etc.

The setting need not be recorded because it is not necessary to reset after BIOS updating about the setting of "SAS Configuration Utility".

2.5 The procedure of BIOS/BMC/LAN Firmware Update

- (1) Connect an USB Floppy disk drive and an USB CD-ROM drive to the Server Blade you wish to update.
- (2) Insert the "PEIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk" to a floppy disc drive and "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/Firmware Update Tools" to a CD-ROM drive, thereafter; press the power button in front of the Server Blade to supply power to the Server.
- (3) FreeDOS starts and the Update Tool starts automatically.
- (4) Make sure the version number, and if you find that the version number written is not supported, exit the update procedure,
- (5) When the version number is a subject to be updated, the update operation on BIOS and BMC starts at first.

Note
 The Server Blade may not be operated properly when Reset or Power cut is unexpectedly generated during BIOS update procedure. **Please do not reset or cut the power supply while updating.**

When BIOS update is failed and the Server Blade does not operate properly, please refer to **【Appendix A: Recovery Procedure】** for recovery of the system.

- (6) When the following message appears, press "Enter". The Server Blade restarts.

```

*****
*
*   BIOS/BMC Firmware update completed successfully.   *
*   If you are ready, please press Enter-key.           *
*
*
*****
  
```

- (7) FreeDOS starts, then, the version number of LAN firmware is displayed as shown below;

A. When LAN Extension Board is installed;

```

xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto
2:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  1.9.6  Mp,auto
3:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  1.9.6  Mp,auto
4:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
  
```

B. When LAN Extension Board is not installed;

```

xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  1.9.6    Mp,auto
2:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  1.9.6    Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?

```

- Update procedure is required when there is a LAN controller with LAN Boot Code version number of 1.9.3 or 1.9.6. Press “n” key. Go to Step (8).
- When there is only LAN Boot Code version number 3.0.0 exists, update work is not needed. Press “y” key. The tool exits automatically. Then, go to Step (12).

(8) LAN Boot Code starts updating automatically.

Note
The Server Blade may not be operated properly when Reset or Power cut is unexpectedly generated during Firmware update procedure. **Please do not reset or cut the power supply while updating.**

When Firmware update is failed and the Server Blade does not operate properly, please refer to **【Appendix A: Recovery Procedure】** for recovery of the system.

(9) When the following message appears, press the Power Button in front of the Server Blade to cut the power supply. After around 10 seconds of time, press power button of Server Blade to make it start.

```

*****
*
* LAN Boot code 3.0.0 successfully updated *
*
*
*
*****

```

(10) When the following message appears on the screen, please confirm that LAN Boot Code is updated to 3.0.0

A. When the LAN Extension Board is installed;

```

xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
2:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
3:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto
4:5708S:** **:**:** PCI-E-4  2.5  0xF***  **      *****  3.0.0    Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?

```

B. When the LAN Extension Board is not installed;

```
xdiag -- Broadcom NetXtreme II diagnostics version 1.7.4
Copyright (c) 2001-2006 Broadcom Corporation, all rights reserved.

C: Brd:Rv Bus      PCI      Spd Base  IRQ      MAC      FmwVer  Configuration
1:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto
2:5708S:** **:**: PCIE-4  2.5  0xF*** **  *****  3.0.0  Mp,auto

FmwVer 3.0.0? yes or no [Y,N]?
```

(11) Make sure that all the LAN Boot code version numbers are indicated 3.0.0, and press “y” key.

(12) When the message as shown below appears on the screen, press Power button in front of the Server Blade to cut the power supply.

```
*****
*
* LAN Boot code version OK (3.0.0)
*
*
*
*****
```

(13) Reboot the system and press <F2> key during POST to start BIOS Setup Utility.

(14) Confirm the version number of BIOS/BMC with [BIOS Version] and [BMC F/W Version] in [Main] Menu after completion of update procedure.

```
BIOS Version      3B18
BMC F/W Version   3B27
```

(15) Having confirmed that the version numbers is correct, move the cursor to the [Discard Changes & Exit] in “Exit” Menu, and press “Enter”.

(16) Remove the floppy disk and CD, then, press Power button in front of the Server Blade to cut the power supply.

2.6 Restoration of BIOS Setup Information

The Data saved before BIOS update is restored using “PRIMERGY BX620 S3 Server Blade Backup Disk”. The Backup Disks can be used in the similar manner as “Server Management Tools”, and implement the procedure with referring to the 「User’s Guide 5.3 Storing the System Setting Information」 of “PRIMERGY Document & Tool CD”

2.7 Resetting the OS Boot Watchdog Timer on ServerView

Before starting the BIOS update, when OS Boot Watching Timer of ServerView in BIOS Setup Utility is changed to “Disabled”, the following procedure should be completed to make it back to “Enable”. Please see the “User’s Guide 8.2 BIOS Setup Utility” of “PRIMERGY Document&Tool CD” to complete this procedure.

- (3) Press the Power button in front of the Server Blade to supply power for Server Blade.
- (4) After Server Blade starts, press <F2> key to boot the BIOS Setup Utility during POST.
- (3) Move the cursor to the [ASR & R] Sub Menu in [Server] Menu, and press [Enter] key.
- (4) Set [OS Boot Watchdog Timer] in [Enabled].
- (5) Move the cursor to [Save Changes and Exit] in [Exit] Menu, then, press [Enter] key.
- (6) Press the Power button in front of the Server Blade to cut the power of Server Blade.

2.8 Confirmation of Boot Sequence Setting

Before starting the update procedure, when Boot Sequence Setting is changed, make the setting back to original setting. Regarding this procedure, please refer to “User’s Guide 8.2 BIOS Setup Utility” in “PRIMERGY Document & Tool CD” to complete the procedure.

2.9 Confirmation of normality on System Boot

Please make sure that the system starts properly.

Update procedure is completed.

3. Installation of LAN Driver and BACS2 Tool

Please follow the instruction below for installation of the LAN Driver BACS2 when the LAN Extension Board is installed onto BX620S3 Server Blade,

3.1 Installation of LAN Driver

- (1) Place PRIMERGY BX620S3 BIOS/Firmware Update Tool CD-ROM to a slot.
- (2) Execute the following EXE.
 - When Windows Server 2003 x64 is running;
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K3x64¥DrvInst¥setup.exe
 - When Windows Server 2003 is running;
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K3¥DrvInst¥setup.exe
 - When Windows Server 2000 is running;
¥DRIVERS¥LAN¥Broadcom¥Ext¥W2K¥DrvInst¥setup.exe
- (3) Crick [Next].
Installation of the driver starts.
- (4) Crick [Finish].
- (5) Remove the CD-ROM, and restart Server Blade.

3.2 Installation of BACS2 Tool

- (1) Place the PRIMERGY BX620S3 BIOS/Firmware Update Tool CD-ROM to a slot.
- (2) Execute the following EXE.
 - When Windows Server 2003 x64 is running;
¥MgmtApps¥x64¥setup.exe
 - When Windows Server 2003/Windows Server 2000 is running;
¥MgmtApps¥IA32¥setup.exe

*** For further details on installation procedure, please refer to “Installing the BACS2” on P158 in “1Gbit/s Ethernet I/O Module User’s Guide”.**

【Appendix A: Recovery Procedure】

A-1. When failing in the BIOS update

Write in the BIOS according to the following procedure when it fails in the update of BIOS due to the power failure etc. while updating the BIOS and **the server blade doesn't start normally**.

- (1) push the power supply button in front of the server blade, and turn off the power supply of the server blade.
- (2) Remove the server blade from the chassis, and set three of the dip switches to turning ON. See "User's guide 7.2 Removing and Attaching the Top cover " in PRIMERGY document & tool CD about a top cover of Installation /removal", and execute.

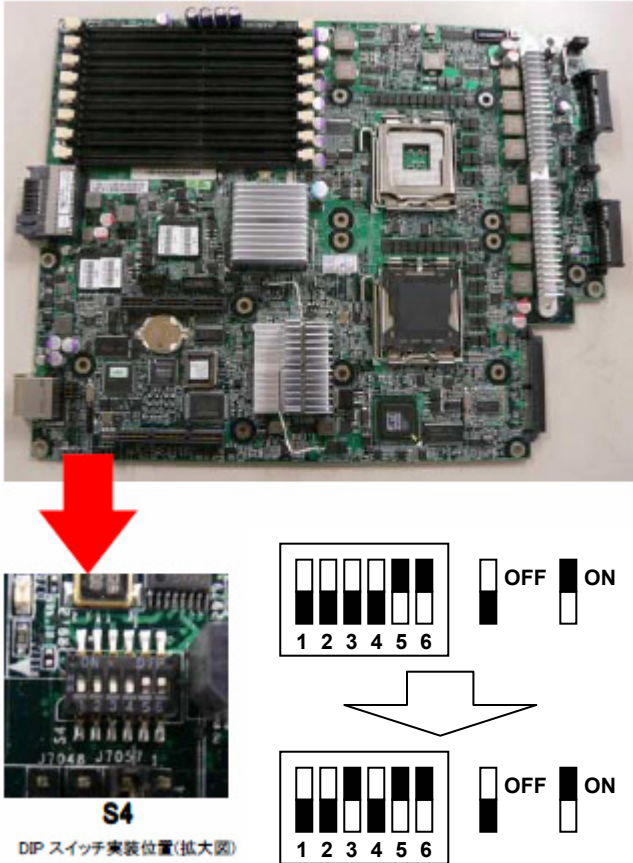


Figure.1-1

- (3) Install the server blade in the chassis, connect the USB floppy disk drive, set "PRIMERGY BX620 S3 BIOS Recovery Disk ", and press the power supply switch of the server blade
- (4) The access starts automatically from the USB floppy disk drive and the BIOS recovery tool starts.
- (5) After the power supply switch of the server blade is pressed, the BIOS recovery will be completed in 5-6 minutes. confirm that the access LED of the USB floppy disk drive has been turned off, and keep pushing the power supply switch of the server blade (four seconds or more), and turn off the power supply.
- (6) Remove the server blade from the chassis, and return OFF three of the dip switches.
- (7) After the chassis is returned to the server blade and the power supply is turned on, restart from procedure (1) of "2.5 update procedure" when you confirm the server blade starts.

A-2. When failing in the BMC firmware update

Execute restoration according to the following procedure when failing in the BMC firmware update.

- (1) Press the power supply button in front of the server blade, and turn off the power supply of the server blade.
- (2) Remove the server blade from the chassis.
- (3) Install the server blade in the chassis after ten seconds or more pass, and connect the USB floppy disk drive with CD-ROM drive.
- (4) Set "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk" in the floppy disk drive, set "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/firmware update tool" in CD-ROM drive, press the power supply button in front of the server blade, and turn on the power supply of the server blade.
- (5) the tool starts, and then press "ctrl" + "C".
- (6) Display the following message, and then press the "Y" key

```
Control-Break Pressed.
Terminate Batch file 'c:\AUTOEXEC.BAT' (Yes/No/All)?
```

- (7) Confirm that the following message is displayed.

```
C:\>
```

- (8) Input the following command when you can confirm the display.

```
C:\> download -f BM033B27.BIN
```

- (9) Confirm that the tool starts and the following message is displayed

```
"Firmware download complete and successful"
```

- (10) Wait for about five seconds after confirming the above-mentioned display, keep pressing the power supply switch of the server blade (four seconds or more), and turn off the power supply.
- (11) Restart from procedure (1) of "2.5 The procedure of BIOS/BMC/LAN Firmware Update" when you confirm the server blade starts after turning on the power supply of the server blade.

A-3. When failing in the LAN Boot Code update

Execute restoration according to the following procedure when failing in the LAN Boot Code update.

- (1) Press the power supply button in front of the server blade, and turn off the power supply of the server blade.
- (2) Remove the server blade from the chassis
- (3) Install the server blade in the chassis after ten seconds or more pass, and connect the USB floppy disk drive with CD-ROM drive.
- (4) Set "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS Recovery Disk & Work Floppy Disk" in the floppy disk drive, set "PRIMERGY BX620 S3 Server Blade BIOS/firmware update tool" in CD-ROM drive, press the power supply button in front of the server blade, and turn on the power supply of the server blade.
- (5) Restart from procedure (1) of " 2.5 The procedure of BIOS/BMC/LAN Firmware Update " when you confirm the server blade starts after turning on the power supply

【Appendix B: Troubleshooting】

Message	Meaning	Action
A file conversion error occurred...	The error occurs.	Confirm whether the floppy disk and the drive are normal. Exchange it for the floppy disk or the drive of the reserve when it is occurred even if it executes it again.
A comparison error1 occurred...	Model of off the subject	Confirm the device, and execute it again.
A comparison error2 occurred...		
An error occurred when this tool read information from FRU...	The error occurs.	Confirm whether the floppy disk and the drive are normal. Exchange it for the floppy disk or the drive of the reserve when it is occurred even if it executes it again.
An error occurred. . .	The error occurs.	
BMC update fail	It fails in the update of BMC	
BIOS update fail	It fails in the update of BIOS	Confirm whether the floppy disk and the drive are normal. Exchange it for the floppy disk or the drive of the reserve when it is occurred even if it executes it again. Execute【Appendix A Recovery works】, when not normally starting
BIOS settings was not compatible...	It makes an error because of the BIOS compatibility confirmation.	Confirm whether it is a number of versions for which the update is necessary again, and execute it again if it is a number of pertinent versions.
Checking Board Number	The number of boards is being confirmed.	It might take 1-2 minutes for the confirmation. Execute the update work by rebooting again when the program is not executed even if it waits for a while.
checking checksum...	The checksum of the file is being confirmed.	
Checking BIOS version...	The BIOS version is being confirmed.	
Checking Firmware version...	The number of versions of server blades is being confirmed.	
Checking type of Blade ...	The kind of the server blade is being confirmed.	
Can't restore because of missing files...	It fails in the BIOS restoration.	Execute the restoration processing again after confirming whether a pertinent file is on the floppy disk.
Error reading from drive A: DOS area: drive not ready (A)bout, (I)gnore, (R)erty, (F)ail?	The floppy disk was inaccessible.	Insert a recordable floppy disk, and execute "R(Retry)".
Error writing to drive A: DOS area: write-protection violation attempted (A)bout, (I)gnore, (R)etry, (F)ail?	The floppy disk is write-protected.	Remove the write-protection of the floppy disk and execute "R(Retry)".
ERROR: The system have DOS Format Partition. Could not work on this system.	Because the system has the DOS partition, the tool cannot be started.	Delete, and execute the partition of the DOS format and the partition of the unformat again.
ERROR: This floppy is broken!	Defect of update disk medium, or head defect or dirt of floppy disk drive	Confirm access LED of the floppy disk drive has been turned off, and turn off the power supply of the server blade. Create another update disk, and execute again.
Firmware update success!! Please set Floppy disk 1 and Power off and on!	The firmware update succeeds, and the power-off and on are demanded.	The firmware update succeeds. The floppy disk of the directed number is inserted, and the power-off and turn it on with a front power supply switch.
Firmware check OK!! Please Power off!!	The version number check of the firmware is	Complete the version number check of the firmware, and execute the power-off with a front power

	completed.	on/off switch.
Firmware check error phase1	The error occurs.	Confirm whether the floppy disk and the drive are normal. Exchange it for the floppy disk or the drive of the reserve when it is occurred even if it executes it again.
Firmware check error phase2		
Firmware check error phase3		
Firmware check error phase4		
Now reading programs. . . Please wait...	The tool is being read.	It might take 1-2 minutes to start. The cable is connected, confirm the drive, and execute it again when the menu is not displayed even if it waits for a while.
Please insert the floppy disk. Press any key to continue . . .	Demand of floppy disk	Insert the floppy disk, and press Enter.
Please set Floppy Disk 2	The directed floppy disk is demanded.	Insert the directed floppy disk.
Please set Floppy Disk 3		
Please run 'deldat.bat' before saving settings...	Deletion demand of unnecessary file	Delete the file by "Deldat", and execute the save processing again.
System does not match this flash-diskette!	Model of off the subject	Confirm the device, and execute it again.

【Appendix C: Configuration Sheet】

■ Setting of Main menu

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎Setting when shipping it ◇Default)
Version	The version of AMIBIOS is displayed (Only the display)	
Build Date	The date that AMIBIOS built is displayed (Only the display).	
BIOS Version	The F/W version of BIOS is displayed (Only the display).	
BMC F/W Version	The F/W version of BMC is displayed (Only the display).	
System Time *1	Present time is displayed [hh:mm:ss]	
System Date *1	A present date is input [xxx MM/DD/YYYY]	
Sync RTC with Mgmt, Blade	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled	
System Memory Size	The memory capacity of installing is displayed.	

*1 : When Sync RTC with Mgmt and Blade set Disabled, it is possible to input it.

■ Setting of Advanced menu

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎Setting when shipping it ◇Default)
Reset Configuration Data	◎No ◇Yes	
Peripheral Configuration		
Serial Port1 Address	<input type="checkbox"/> Disabled ◎3F8/IRQ4 <input type="checkbox"/> 2F8/IRQ3 <input type="checkbox"/> 3E8/IRQ4 <input type="checkbox"/> 2E8/IRQ3	
USB Configuration		
USB Functions	<input type="checkbox"/> Disabled ■4 USB Ports	
USB 2.0 Controller	■Enabled <input type="checkbox"/> Disabled	
Legacy USB Support	<input type="checkbox"/> Disabled <input type="checkbox"/> Enabled ■Auto	
USB Mass Storage Device Configuration		
USB Mass Storage Reset Delay (*2)	<input type="checkbox"/> 10Sec ■20Sec <input type="checkbox"/> 30Sec <input type="checkbox"/> 40Sec	
Device #1	GENERIC CDRxxxx	
Emulation Type (*3)	■Auto <input type="checkbox"/> Floppy <input type="checkbox"/> Forced FDD <input type="checkbox"/> Hard Disk <input type="checkbox"/> CDROM	
Device #2	Y-E USB-FDU	
Emulation Type (*3)	■Auto <input type="checkbox"/> Floppy <input type="checkbox"/> Forced FDD <input type="checkbox"/> Hard Disk <input type="checkbox"/> CDROM	
PCI Configuration		
Onboard Disk OPROM	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled	
Onboard Lan 1 OPROM	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled	
Onboard Lan 2 OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
PCI slot OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Daughter Board OPROM	◎Disabled <input type="checkbox"/> Enabled	
Onboard LAN 1 Controller	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled	
Onboard LAN 2 Controller	<input type="checkbox"/> Disabled ◎Enabled	

*2: Item displayed when USB device is connected

*3: The displayed item that is the number of the connected USB device

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎ Setting when shipping it ◇ Default)
CPU Configuration		
C1E Support *1	■ Disabled □ Enabled	
Hardware Prefetcher	□ Disabled ■ Enabled	
Adjacent Cache Line Prefetch	□ Disabled ◎ Enabled	
Vanderpool Technology *1, *2	◎ Disabled □ Enabled	
Execute Disable Bit	◎ Disabled □ Enabled	
Intel(R)SpeedStep(tm) tech. *1	□ Maximum □ Minimum □ Automatic ◎ Disabled	
Intel(R) C-STATE tech.	■ Disabled □ Enabled	

*1 : It is likely not to be displayed by the kind of installing CPU.

*2 : It is grayouted when reactivating after OS is booted. After executing off/on in the power supply, the setting change is possible.

■ Setting of Security menu

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎ Setting when shipping it ◇ Default)
Supervisor Password	The presence of Password is displayed.	
User Password	The presence of Password is displayed.	
Change Supervisor Password	Password is input.	
Change User Password	Password is input.	
Clear User Password *3	Clear User Password by the 'Enter' pressing.	
Password Check *4	◎ Setup □ Always	
Supervisor Password Lock *4	◎ Standard □ Extended	

*3 : Item displayed when password for user is set

*4 : Item displayed when password for manager or password for user is set

■ Setting of Server menu

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎ Setting when shipping it ◇ Default)
Post Errors	□ Disabled ■ Enabled	
ASR&R		
OS Boot Watchdog Timer	◎ Disabled □ Enabled	
Timer Count Down Value *5	□ 2minutes ~ ◎ 10Minutes ~ □ 100Minutes	
Timer Count Action *5	□ No Action ◎ Reset □ Power Off □ Power Cycle	
Boot Retry Counter	□ No Retry □ Retry1 time ~ ◎ Retry3 times ~ □ Retry7 times	
ASR&R Boot Delay(Minute)	□ 0~30 ■ 2	
After Power Failure	□ Stay Off ◎ Last State □ Power On	
CPU Status		
CPU1 Status	■ Enabled □ Disabled □ Failed *6 □ Empty *7	
CPU2 Status	■ Enabled □ Disabled □ Failed *6 □ Empty *7	
Hyper Threading Technology	◎ Disabled □ Enabled	

*5 : Item displayed only when OS Boot Watchdog Timer is changed from "Disabled" to "Enabled"

*6 : Set value displayed when CPU IERR is occurred. Only the change to Enabled is possible.

*7 : Item displayed when CPU is uninstalled.

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎Setting when shipping it ◇Default)
Memory Status		
Memory Scrubbing *1	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled
Memory Mirror	◎Disabled <input type="checkbox"/> Mirror	
DIMM 1,2	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 3,4	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 5,6	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
DIMM 7,8	<input type="checkbox"/> Disabled	<input checked="" type="checkbox"/> Enabled <input type="checkbox"/> Failed
Console Redirection		
Com Port Address	<input type="checkbox"/> Disabled	◎On-board COM A
Protocol	■ANSI <input type="checkbox"/> VT100 <input type="checkbox"/> VT-UTF8 <input type="checkbox"/> VT100+	
Flow Control	■XON/XOFF	
Mode	<input type="checkbox"/> Standard	◎Enhanced
System Information		
Manufacturer	The installed CPU vender name is displayed.	
Brand String	The CPU name and the frequency are displayed.	
Frequency	The CPU frequency is displayed.	
FSB Speed	The FSB speed is displayed.	
Stepping	The stepping of CPU is displayed.	
Cache L1	The L1 cache is displayed.	
Cache L2	The L2 cache is displayed.	
On Board LAN1 Mac Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx	
On Board LAN2 Mac Address	xx:xx:xx:xx:xx:xx	

*1: It is likely not to be displayed by the model.

■Setting of Boot menu

Setting/content of display		(■ : Change prohibition ◎Setting when shipping it ◇Default)
Bootup Num-Lock	<input type="checkbox"/> Off	◎On
Boot Device Priority (*1)		
	<input type="checkbox"/> USB:Y-E USB FDU <input type="checkbox"/> USB:Virtual Floppy *2 <input type="checkbox"/> USB:GENERIC CDRxxx <input type="checkbox"/> USB:USB *3 <input type="checkbox"/> SCSI:#C40 ID00 LUN <input type="checkbox"/> SCSI:#C40 ID01 LUN <input type="checkbox"/> Network:MBA v x.x.x <input type="checkbox"/> Network:MBA v x.x.x <input type="checkbox"/> Others:_____	

*2: Item displayed when the floppy disk drive of client computer that connects it via high performance KVM module connects emulation.

*3: Item displayed when the CD-ROM drive of client computer that connects it via high performance KVM module connects emulation.

【Appendix D: Work Procedure Check Sheet】

Copy the following according to the number of the server blade and record.

	2.4.1 Confirm the Power-off and restart at Server Blade
<input type="checkbox"/>	It was confirmed to execute the power-off and reboot, and be normally operating.
	2.4.2 Confirm the starting audit function setting of ServeView
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that OS boot monitoring function was not set.
<input type="checkbox"/>	OS boot monitoring function was set temporarily and disable.
	2.4.3 Confirm boot sequence setting
<input type="checkbox"/>	It was confirmed to be able to start from the floppy disk by setting present.
<input type="checkbox"/>	It changed to the setting that was able to be started from the floppy disk.
	2.4.4 Confirm the version of BIOS/BMC
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the number of BIOS versions was the update work objects.
<input type="checkbox"/>	BIOS versions: 3B18
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the number of BMC versions was the update work objects.
<input type="checkbox"/>	BMC versions: 3B27
	2.4.5 Back up the BIOS set up information
<input type="checkbox"/>	The present BIOS setting information was saved by using Backup Disk.
	2.5 The procedure of BIOS/BMC/LAN firmware Update
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the system was rebooted by the power-off and on after the update had been completed.
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the number of LAN firmware versions was 3.0.0.
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the number of BIOS versions was 3B18 and BMC 3B27 after completing the update.
	2.6 Restoration of BIOS setup information
<input type="checkbox"/>	It restored it to a set value before BIOS was updated by using Backup Disk.
<input type="checkbox"/>	The setting of present was newly preserved by using Server Management Tools.
	2.7 Resetting the OS Boot Watchdog Timer on Server View
<input type="checkbox"/>	It is confirmed that the re-setting of OS boot monitoring function is an unnecessary from 2.4.2.
<input type="checkbox"/>	The setting of OS boot monitoring function disabled by 2.4.2 was validly returned.
	2.8 Confirmation of Boot Sequence Setting
<input type="checkbox"/>	It is confirmed that the re-setting of the boot sequence is an unnecessary from 2.4.4.
<input type="checkbox"/>	The boot sequence changed by 2.4.4 was returned to former setting.
	2.9 Confirmation of normality on System Boot
<input type="checkbox"/>	It was confirmed that the system started normally after it had worked updating.